

(2) 漸々消滅スルノ安撫費分譲原トナリ九月廿四日午後三時三十分より以方会
者会社ニ其ノ合見交渉シ重不並午三時三十分ニ至テモ不交成迄セズ
九月廿五日午後一時より再交渉ニ入り折衝ヲ重不並ル結果
会社ハ年議團側ニ解雇手当共他シ合セ一万八千五百四十五圓支
給シ高橋渉外九月廿三日解雇セシタル五十七名中重不並十九名ハ
新規採用ノ年議ニ依ルモノトナシ方物者又之ヲ兼認スルト共ニ其他ノ
要不並件ノ妥成成立望午三時三十分首書ヲ交換解決スルニ至リ
九月廿五日決意ニ松尾氏(計在ノ心先)年議團大會シ同値セル
カ年議解決ニ反対ナリトテ九月廿三日日参会車幸リハ声ヲ擧ケテ返ク
者ヨリ一時異議ノ空氣漲リタルカ年議團幹部ノ慰留ニ至リ沈黙
ニ陥リ解決ノ結果貴書兼認者多數トナリ宣言ヲ可決ニ致ス

標記会社ニ若ケル労働年議ニ関シテハ屢報ノ通ナルカ其
後次第ニ年議團側ノ結束乱シ九月廿三日以降ノ運転状
況ハ平日ノ約七割乃至八割ノ成績ヲ呈スルニ至リ年議團
ニ焦慮ノ色アリ 又会社側ニ於テハ九月二十三日午後二

特別記(1)ノ通高相達之助(一名ハ年議當初ヨリ年議ニ至リ
現業直會長タル干係上年議ニ参加シ居タルモノナルカ途中
年議團ヨリ脱退)且下所立不明ニシテ本人ノ今回ノ舉措ニ付テハ会社
ト一激ノ干係アリト先自ノ風評アリト外四名ヲ待命処分ノ発表
アリ然レテ同日午後六時ニ至リ予テ詮衡中ノ伊藤祐治外五
十七名(特別記(1)ニ対シ解雇通知ヲナシ所アリテ表面館迄
強硬ナル態度ヲ持シ居リシト)内面年議ニ基テ財政的打撃
其他ノ事情ヲ慮ル必アリ 年議團側ヨリノ交渉アラバシ
ニ悉ク解決ニ至ルニ妥成成立望午三時三十分首書ヲ交換解決スルニ至リ
至リ 斯レテ九月廿五日ニ至リ年議團側代表者菊川忠
雄外八名ハ会社ニ据内社表ヲ訪問解決問題ニ至ルニ交渉
ヲ正式ニ開始シタルカ解決希望ニ幾多ノ相違アリ連日交